

海老川水門整備に関する地元説明会を開催しました

～ 千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業 ～

令和7年度の後半から予定している海老川水門の整備に先立ち、地元の皆様を対象とした「海老川水門整備に関する地元説明会」を開催いたしました。

説明会では、海老川水門の整備概要及び工事の進め方のほか、現在工事を進めている護岸・胸壁の工事完了状況及び今後の工事予定について、説明いたしました。

- ・日時：令和7年3月1日(土) 10:00～11:00
- ・会場：船橋市浜町公民館 2F 講堂
- ・主催：国土交通省・千葉県・船橋市
- ・参加者：計49名



説明会会場の状況

千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業

海老川水門整備に関する説明会

議事次第

日時：令和7年3月1日(土) 10:00～

場所：浜町公民館2F 講堂

1. 開会
2. はじめの挨拶
3. 出席者紹介
4. 説明
 - (1) 千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業について
 - (2) 本事業で整備する海老川水門について
5. 質疑応答
6. 閉会

海老川水門整備に関する説明会

国土交通省 関東地方整備局
千葉港湾事務所

令和7年3月1日

1. 「千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業」について

- 事業概要
- 気候変動への対応
- 現在の工事状況
- 工事スケジュール

2. 本事業で整備する海老川水門について

- 新水門の整備概要
- 新水門の構造
- 工事の進め方
- 全体工程

千葉港海岸直轄海岸保全施設整備事業 事業概要

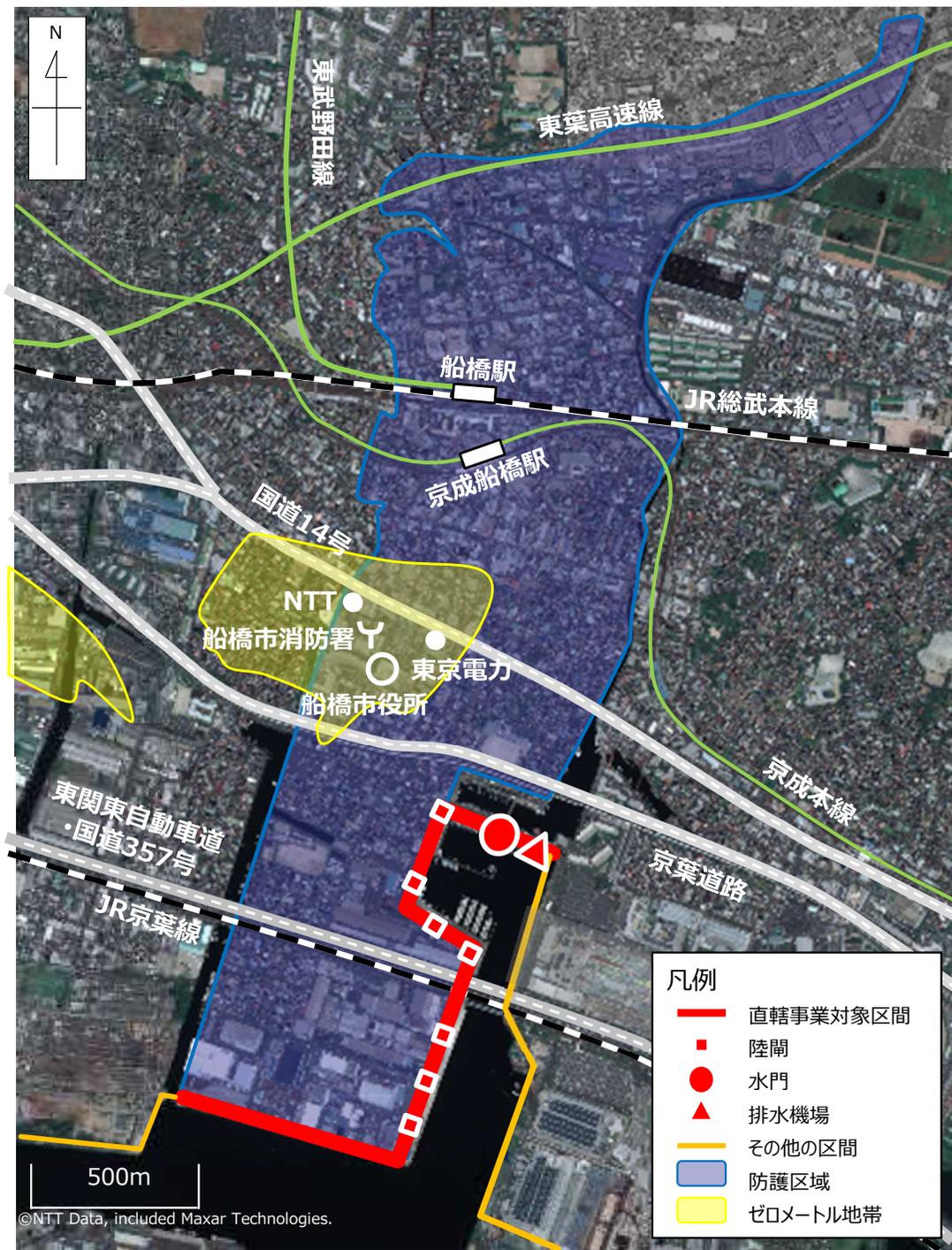
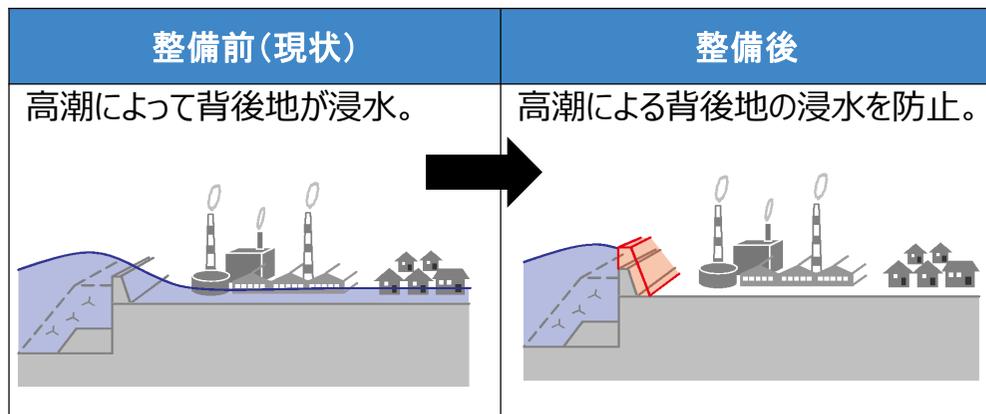
【事業の目的】

台風等による高潮や首都直下地震及び同地震に伴う津波に備えるため、海岸保全施設の嵩上げ及び耐震対策等を実施することで、地域の安全・安心を確保する。

【事業の概要】

- ・整備施設：護岸(改良) (915m)
 胸壁(改良) (1,255m)
 陸閘(改良) (7基)
 排水機場 (1箇所)
 水門 (1基)
- ・事業期間：令和4年度～令和15年度
- ・総事業費：300億円

【事業の効果】

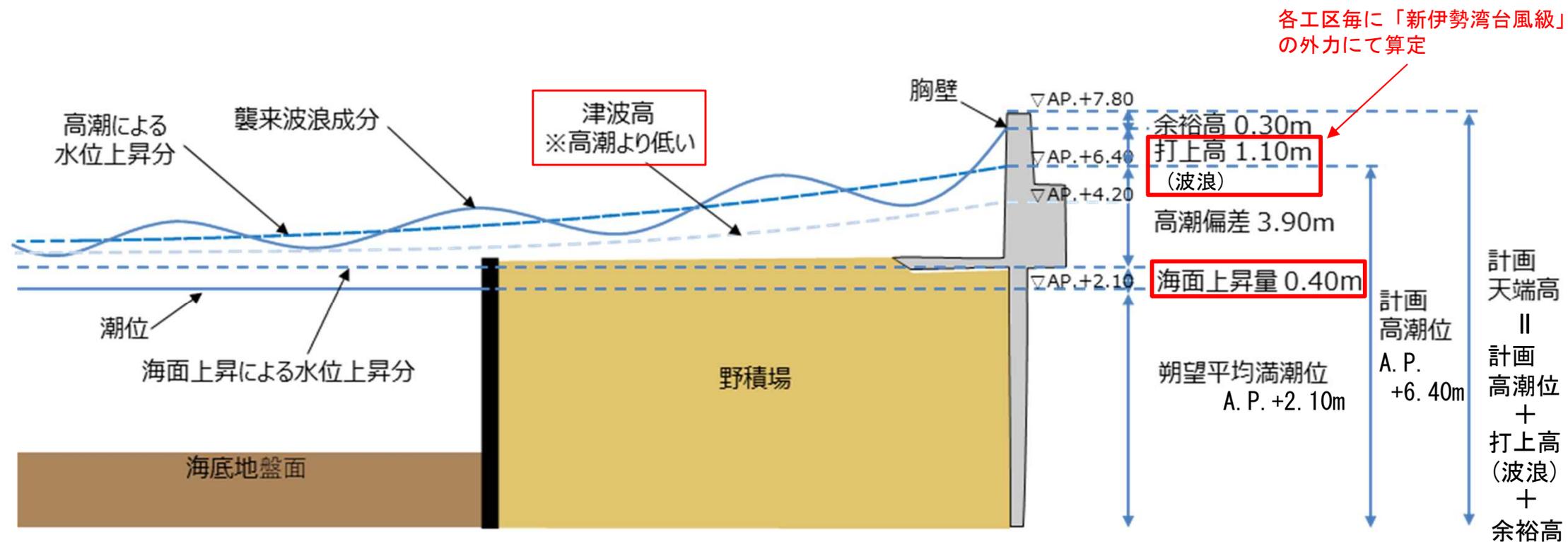


凡例

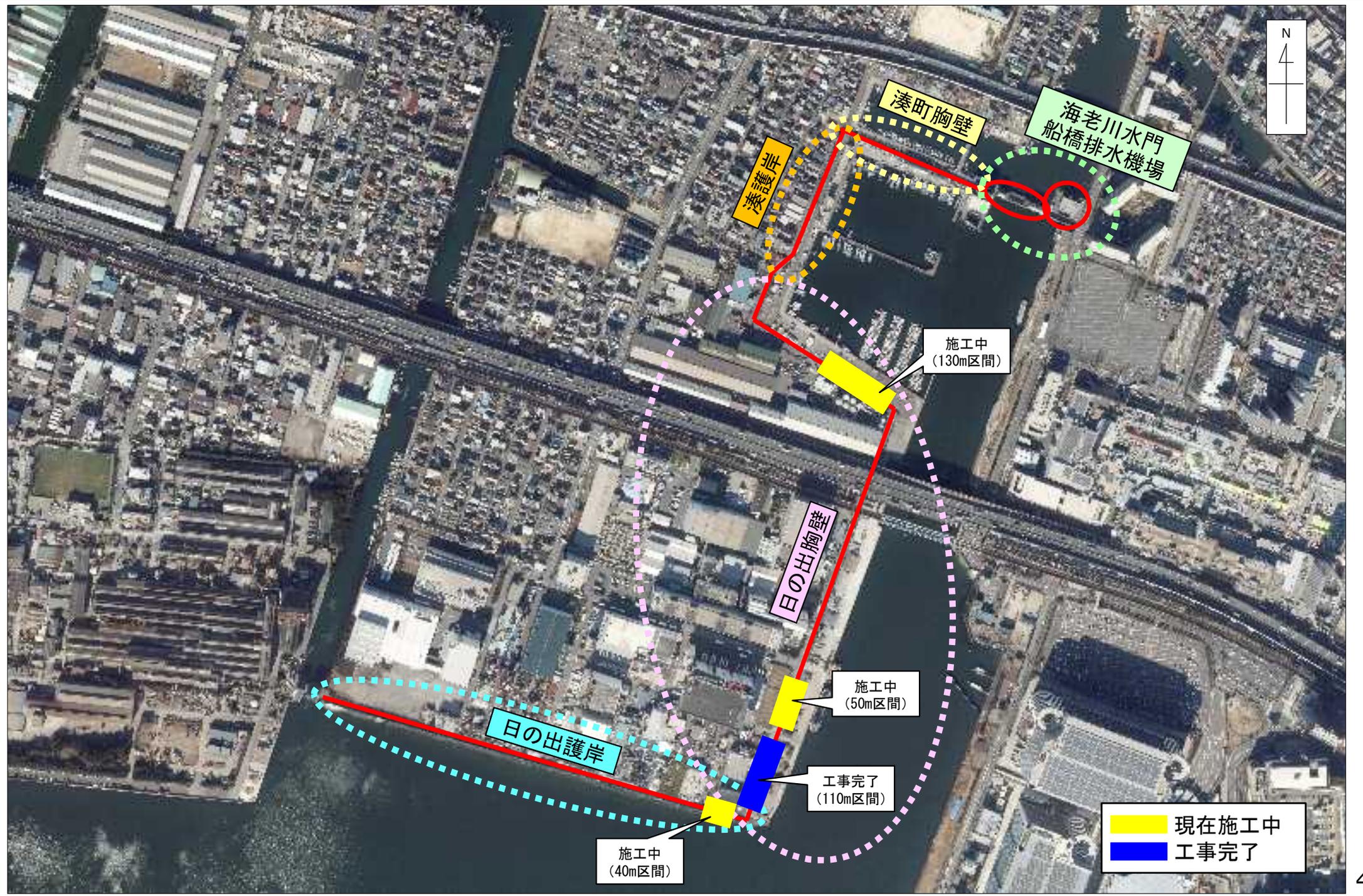
- 直轄事業対象区間
- 陸閘
- 水門
- ▲ 排水機場
- その他の区間
- 防護区域
- ゼロメートル地帯

気候変動を踏まえた計画天端高(防護高)の計画

- 本事業では、気候変動を踏まえた海岸保全施設の計画天端高（防護高）を計画。
- 海面上昇量として、2100年時点での2℃上昇シナリオ（RCP2.6）の平均値である0.4mの海面上昇を考慮。
- 外力は、「新伊勢湾台風級」（930hPa）の台風を想定し、それによる打上高（波浪）を算出。
（これまでの計画では、伊勢湾台風規模（940hPa）の台風を想定。）
- 上記を考慮した高潮計画の検討の結果、胸壁・護岸については、現状より約1.1m～2.2m高い施設を整備。
- 船橋地区は、津波に対して必要な高さ（設計津波の水位）と高潮計画の高さ（高潮・高波に対して必要な高さ）を比較した結果、高潮計画の方が高い地区である。
高潮計画の高さ（計画高潮位：A.P.+6.4m） > 津波に対して必要な高さ（設計津波の水位：A.P.+4.2m）



計画天端高の設定例：日の出胸壁①-I工区(令和5年度 工事完了箇所)

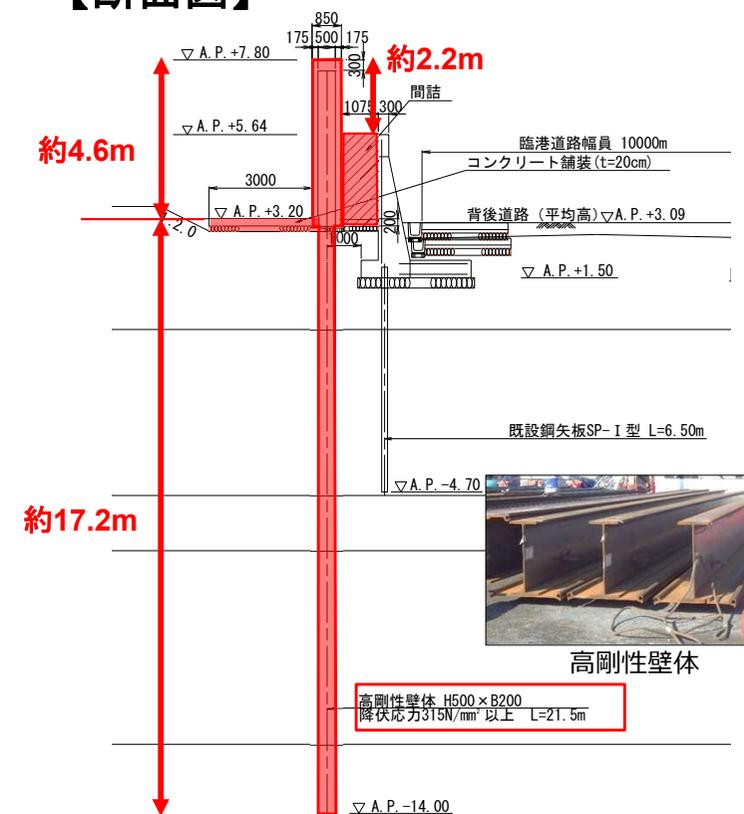


日の出胸壁の工事完了状況(110m区間)



ドローンによる上空からの撮影_R6.1.15 時点

【断面図】



長さ約22mの鋼材を深さ約17.2mまで打設し、地上部分には、現在より約2.2m高い、高さ約4.6mの胸壁を築造しました。



工事完了状況(新設岸壁側)



工事完了状況(既設胸壁側)



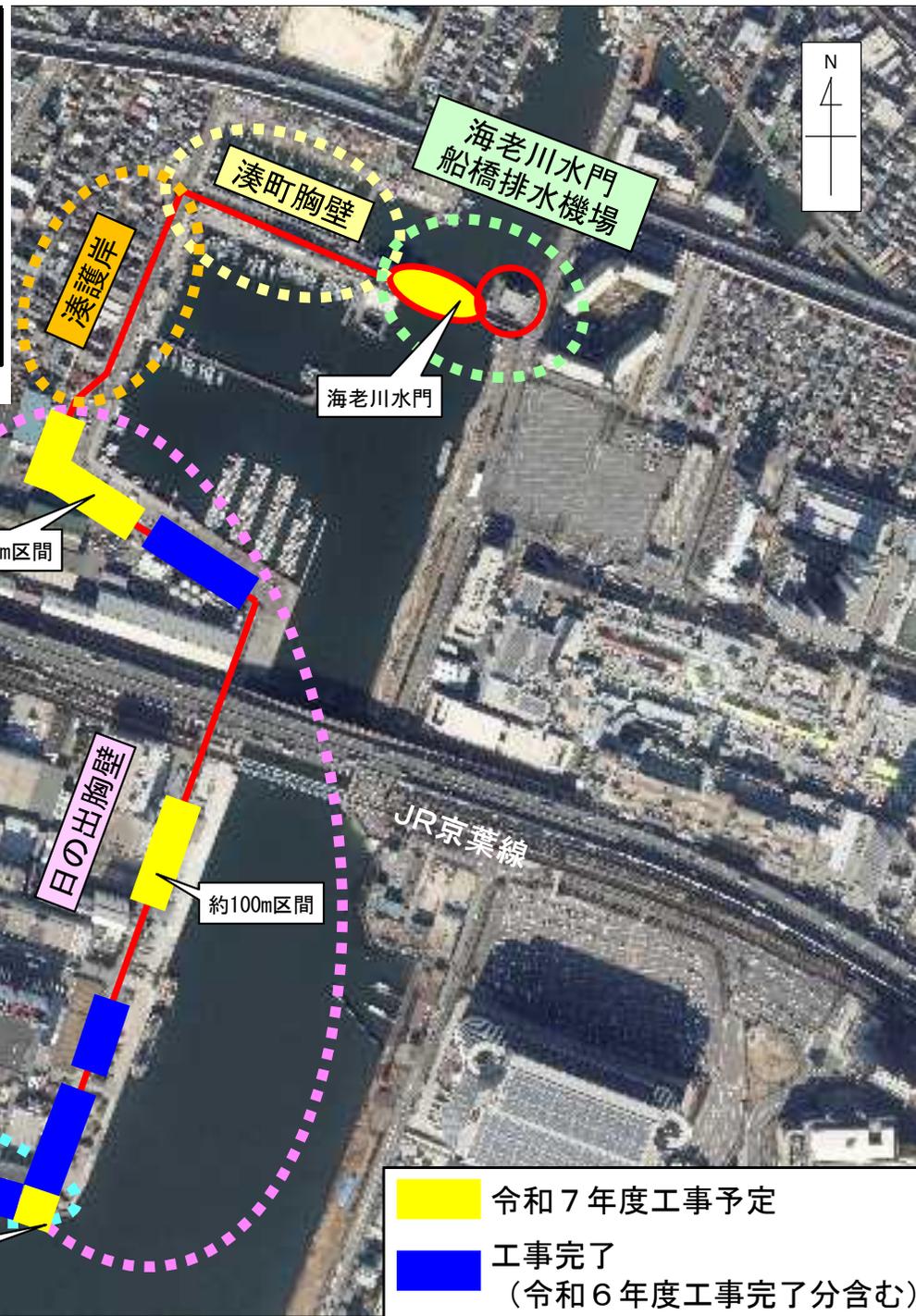
工事完了状況(新設胸壁と既設胸壁との間)

工事スケジュール (予定)

注意: 工事スケジュールは、事業予算等の理由により変更が生じることもあります。

地区	R4d	R5d	R6d	R7d	R8d	R9d	R10d	R11d	R12d	R13d	R14d	R15d
日の出護岸												
日の出胸壁												
湊護岸												
湊町胸壁												
海老川水門 船橋排水機場												

※陸開 (リッコウ) については、令和10年度から令和13年度にかけて整備予定

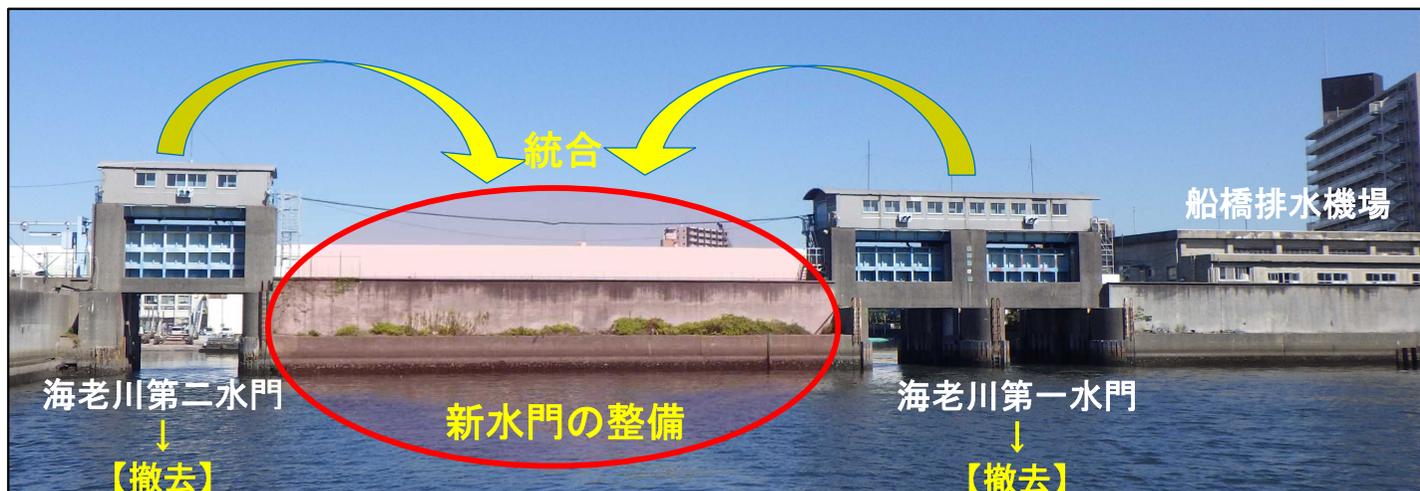


日の出護岸と日の出胸壁の接続部分

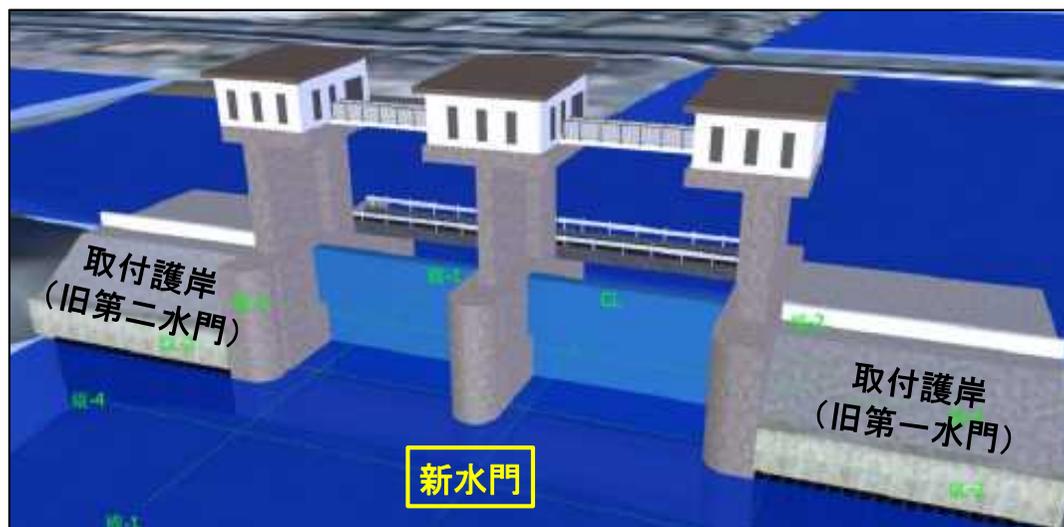
- 令和7年度工事予定
- 工事完了
(令和6年度工事完了分含む)

海老川水門の整備概要

- 海老川水門の整備目的
 - ・老朽化対策
 - ・地震対策
 - ・高潮等大規模自然災害への対応
- 現在の海老川第一水門と第二水門の間に新水門を整備。新水門の整備後は、現在の2つの水門を撤去。
- 整備期間は、令和7年度後半から令和11年度を予定。（新水門の整備後、船橋排水機場の工事に着手予定）



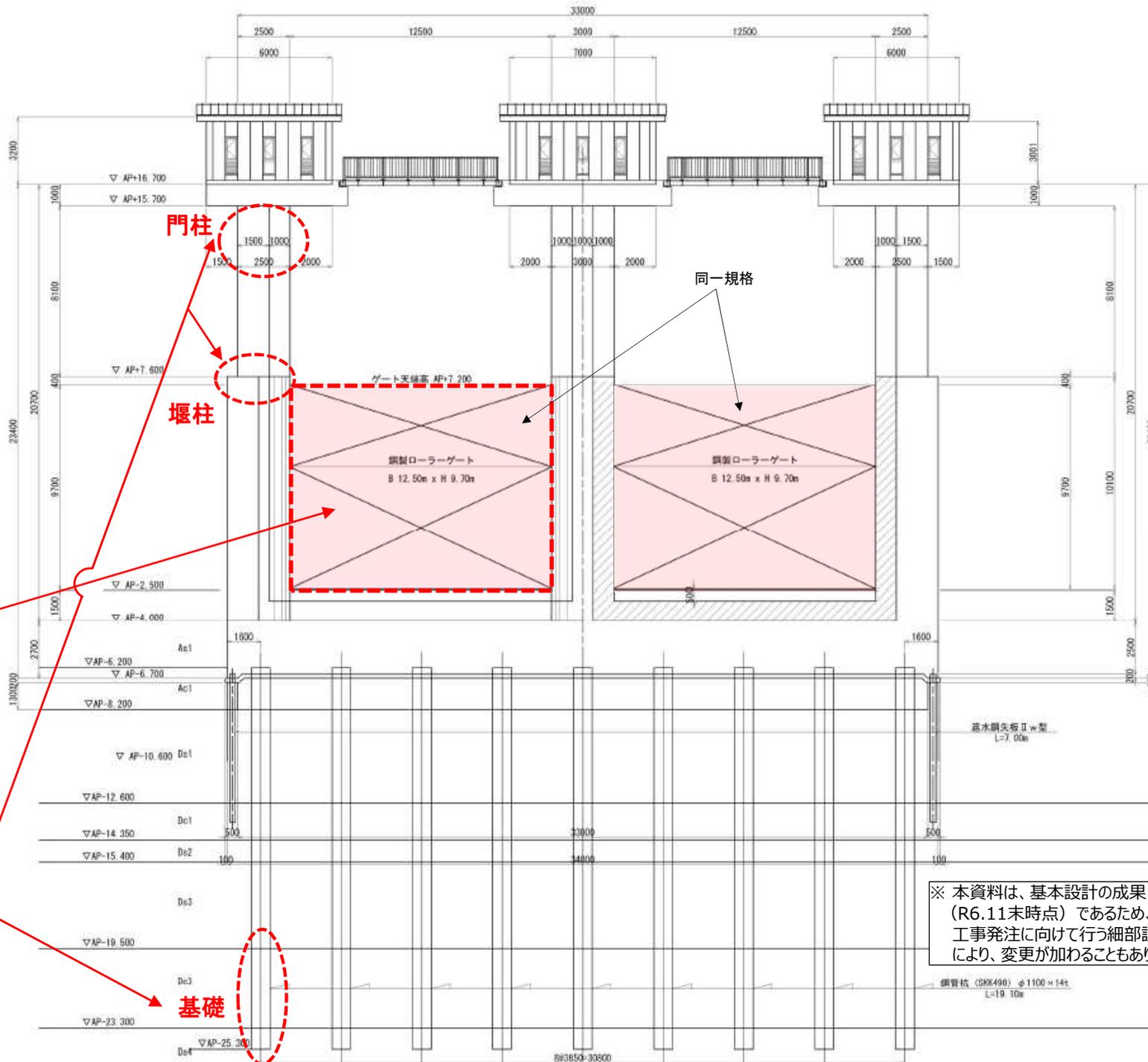
新水門のイメージ図



海老川水門 正面図

ゲート 設計仕様	
形式	二段式プレートガーダ構造ローラーゲート
純径間×有効高	12.50m × 10.10m (※ 将来時：12.50m × 11.60m)
門数	2 門
敷高	A. P. -2.50m (※ 将来時：A. P. -4.00m)
水密方式	ゴム水密方式

開閉装置 設計仕様	
開閉装置	ワイヤロープウインチ式開閉装置
巻取方式	1モータ・2ドラム方式
開閉荷重	900kN
開閉速度	0.3 m/min程度
操作方式	機側操作・遠方操作



水門ゲート

- ゲートの材質は、ステンレス鋼材。
- ゲート天端高は、気候変動を踏まえた A.P.+7.20mの高さで計画。
- ゲートの下端は、千葉県で整備を進めている二級河川海老川の計画河床高となる A.P.-2.5mで計画。
- ゲートの幅は、12.5mで2門を計画。
(既設)第一水門：ゲート幅 8.0m×2門
第二水門：ゲート幅 8.0m×1門

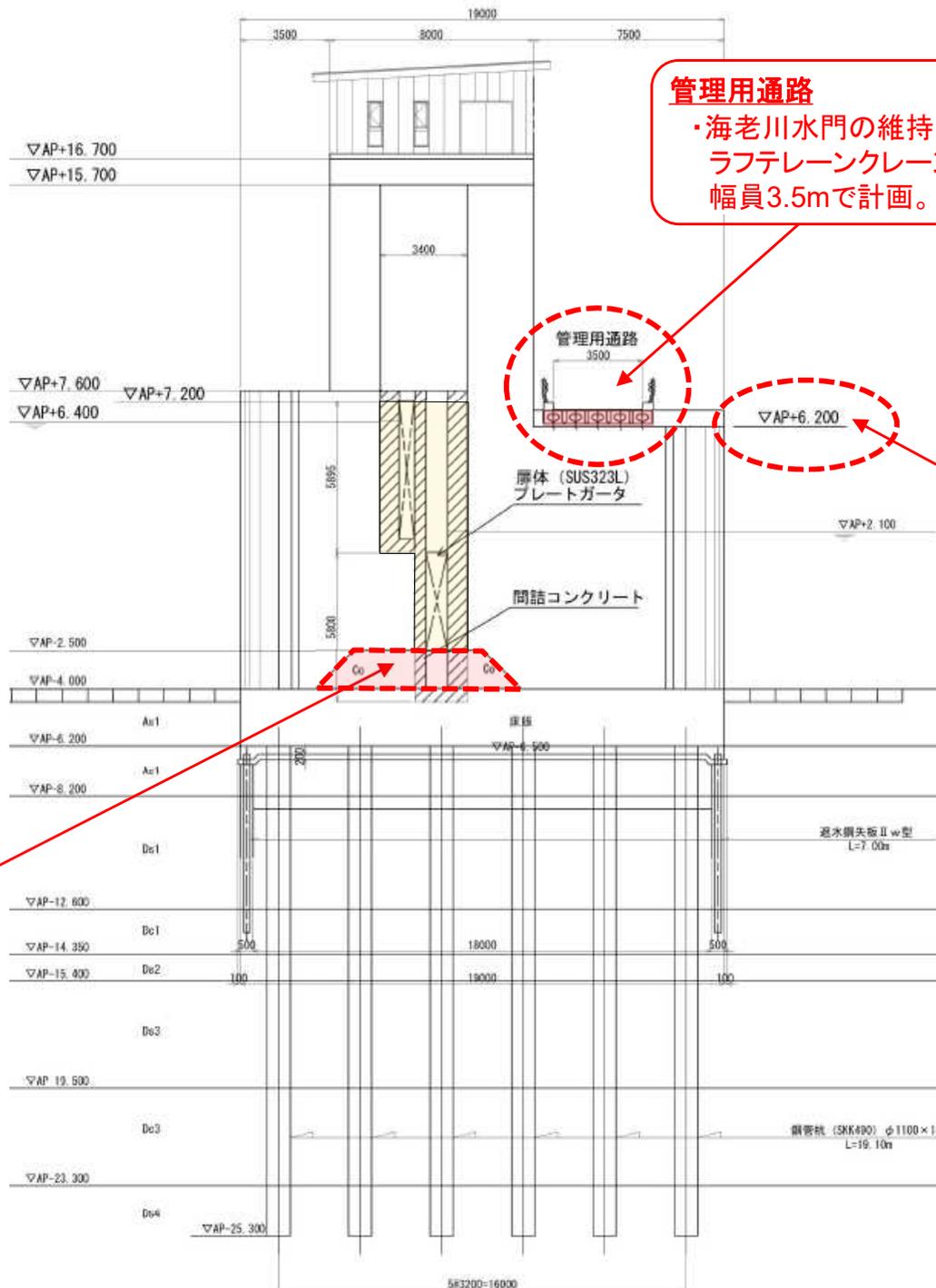
水門の堰柱、門柱、基礎

- 気候変動を踏まえた高さ・構造にて計画。

※ 本資料は、基本設計の成果 (R6.11末時点) であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

海老川水門の構造について(海老川水門 断面図)

海老川水門 断面図



管理用通路
 ・海老川水門の維持管理においてラフテレーンクレーンの走行が可能な、幅員3.5mで計画。

船舶の航行に必要な高さ
 ・船舶の航行を考慮し、現状の海老川第二水門と同じ高さとなるA.P.+6.20mで計画。

← 二級河川
海老川

海側

床板高
 ・直轄事業では、千葉県で整備を進めている二級河川海老川の計画河床高のA.P.-2.5mに合わせた床板高を計画。
 ・間詰めコンクリートを撤去することで、二級河川海老川の将来計画で河床をA.P.-4.0mに掘り下げた場合にも対応可能な構造で計画。

※ 本資料は、基本設計の成果(R6.11末時点)であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

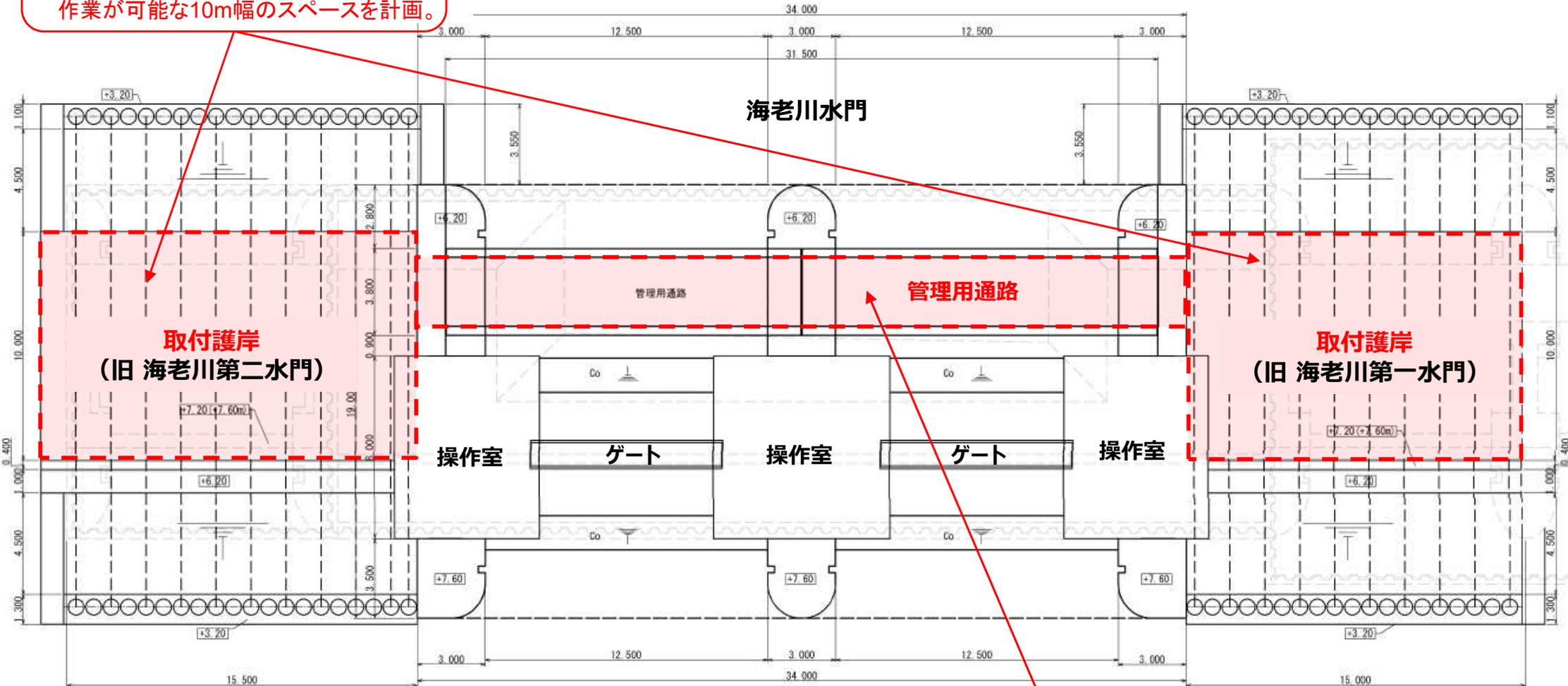
海老川水門・取付護岸 平面図

二級河川
海老川



取付護岸

・海老川水門の維持管理において、ラフテレーンクレーン(45t吊)での作業が可能な10m幅のスペースを計画。



管理用通路

・海老川水門の維持管理においてラフテレーンクレーンの走行が可能な、幅員3.5mで計画。

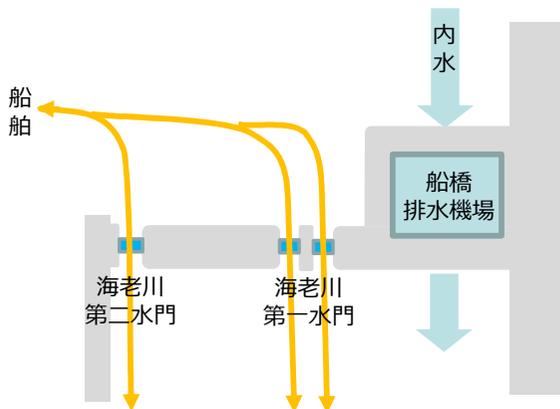
海側

※ 本資料は、基本設計の成果(R6.11末時点)であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

海老川水門 工事の進め方(施工ステップ)

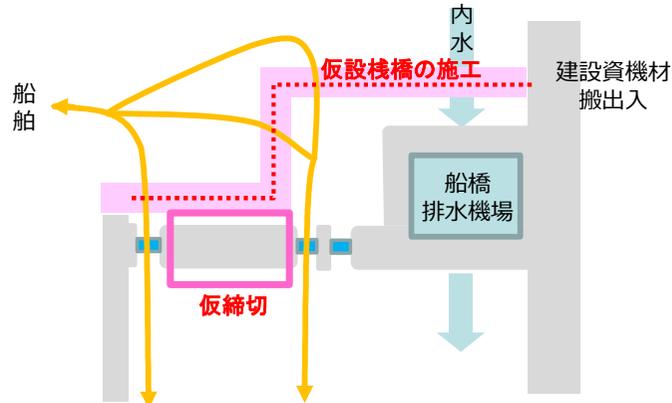
海老川水門整備の施工ステップの概要 (海老川水門の工事で行う範囲は、ステップ4まで)

現況



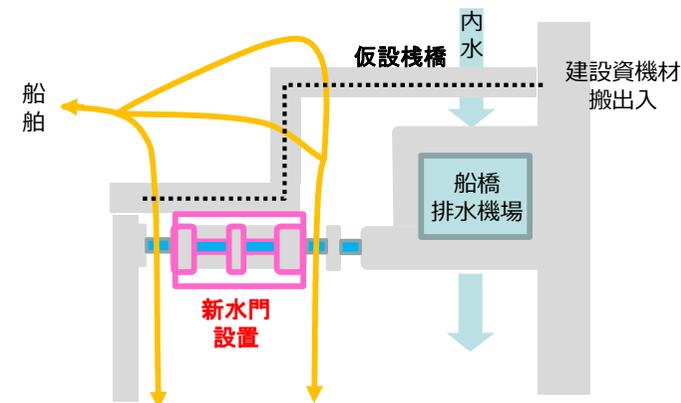
ステップ1

仮設棧橋の施工、水門新設工事(仮締切)



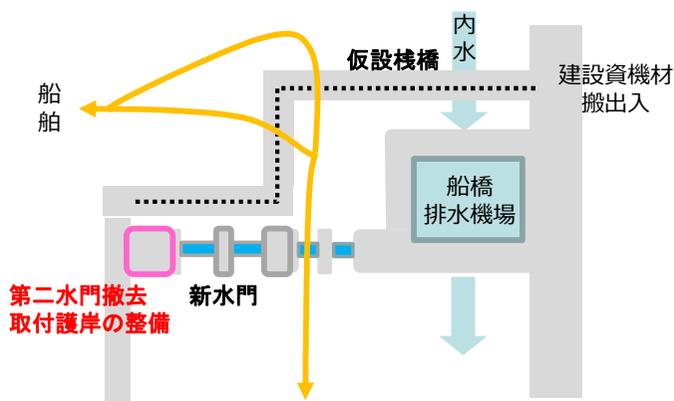
ステップ2

新水門の設置工事



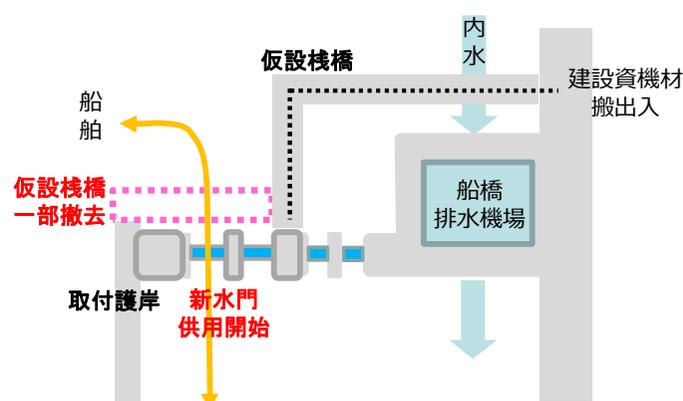
ステップ3

第二水門の撤去、取付護岸の整備



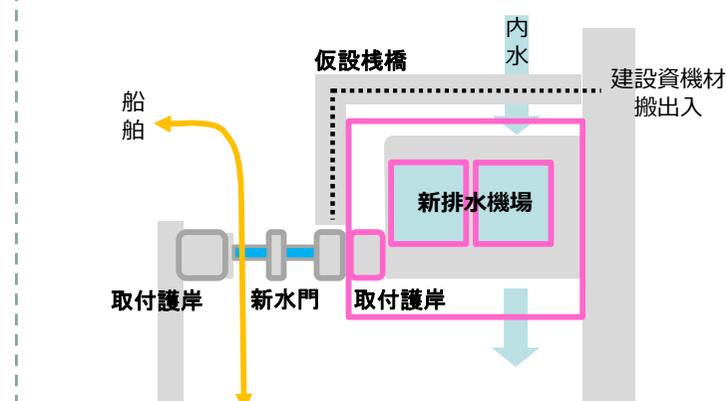
ステップ4

仮設棧橋の一部撤去 新水門の供用開始



ステップ5

第一水門の撤去、取付護岸の整備 新排水機場の設置工事



ステップ5以降の工事は、新排水機場の整備に併せて実施予定。

※ 本資料は、基本設計での計画 (R6.11末時点) であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

海老川水門 工事の進め方(仮設棧橋の施工)

二級河川 海老川



海岸保全区域外

- 海老川水門の工事を行う為に、仮設棧橋を設置します。
- 仮設棧橋は、船舶の航行を考慮し現状の海老川第二水門と同程度の高さの計画です。

船舶の通過可能箇所

- ・現状の海老川第二水門と同程度の高さを確保(約A.P.+6.1m)
- ・杭の間隔は約20m。

仮設管理用通路

- ・既設の海老川水門の維持管理の為の通路。
- ・通路の幅員は、2mの計画。

建設資機材搬出入

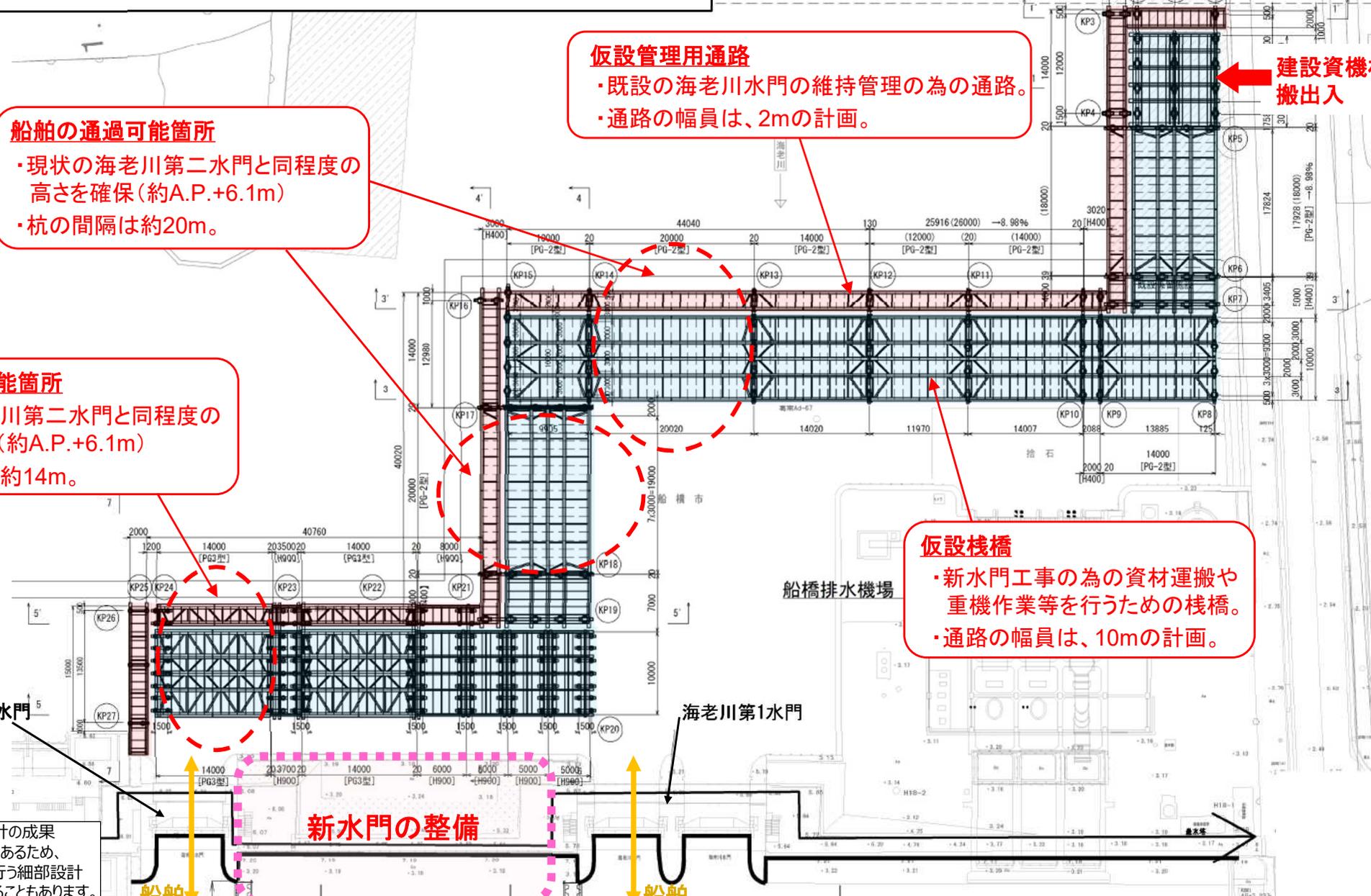
船舶の通過可能箇所

- ・現状の海老川第二水門と同程度の高さを確保(約A.P.+6.1m)
- ・杭の間隔は約14m。

仮設棧橋

- ・新水門工事の為の資材運搬や重機作業等を行うための棧橋。
- ・通路の幅員は、10mの計画。

※ 本資料は、基本設計の成果(R6.11末時点)であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。



船舶

船舶

新水門の整備

仮設棧橋の施工ステップ

① 道路上から仮設棧橋を施工



② 組立台船の組立、台船上でクローラ組立



③ 鋼管杭の積込・運搬



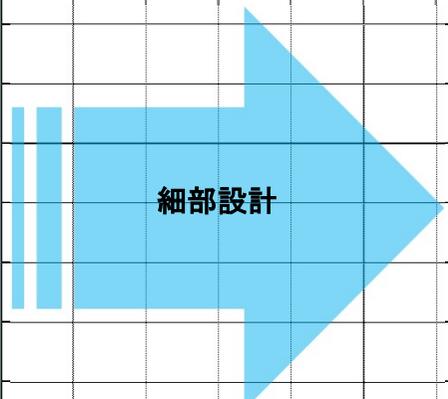
④ 台船上のクローラにて仮設棧橋を施工



※ 本資料は、基本設計の成果（R6.11末時点）であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

海老川水門工事 全体工程

施工内容	令和7年度												令和8年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仮設栈橋の施工													工事契約	材料手配										
仮締切の設置																								
既設護岸の撤去																								
海老川水門の整備																								
仮締切の撤去																								
海老川第二水門の撤去																								
取付護岸の整備																								
仮設栈橋の一部撤去																								



施工内容	令和9年度												令和10年度												令和11年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
仮設栈橋の施工																											
仮締切の設置																											
既設護岸の撤去																											
海老川水門の整備																											
仮締切の撤去																											
海老川第二水門の撤去																											
取付護岸の整備																											
仮設栈橋の一部撤去																											

片付け

※ 本資料は、基本設計の成果（R6.11末時点）であるため、工事発注に向けて行う細部設計により、変更が加わることもあります。

引き続き、地元の皆様からのご理解・御協力をお願い申し上げます。
本日は、お忙しいところご来場いただき、誠にありがとうございました。



質 疑 応 答 の 概 要

～ 海老川水門整備に関する説明会（令和7年3月1日開催） ～

【海老川水門の構造に関すること】

Q：海老川水門の断面図を見ると、間詰めコンクリートの下端が A. P. -4.0m となっており、将来的に間詰めコンクリートを撤去する予定とのことですが、海老川の河床も将来的には、A. P. -4.0m で整備する予定なのでしょうか。（説明資料 P9）

A（国）：現在進められている海老川の整備計画では、河床を A. P. -2.5m まで掘削する計画であると千葉県より伺っておりますが、将来的な計画として、河床高を A. P. -4.0m まで掘り下げる計画もあるとのことから、それに対応できるような構造で先に整備しておくものです。

Q：仮設栈橋の高さは、現在の海老川第二水門と同程度の高さということで良いでしょうか。底引き船は、その高さがないと水門を通過することができません。

A（国）：現在の海老川第二水門と同程度の高さで計画しています。

Q：現在の漁船は、水門が完成した昭和42年頃に比べて大型化しており、水門の内側に入る際は潮待ちをしている状況です。緊急時の対応も考慮して、常に水門の内側に入れるよう、新水門の下端の高さを現在の水門より高くしていただけないでしょうか。

A（国）：新しい水門は、現在の2つの水門のうち下端が高い海老川第二水門と同じ高さで設計しています。水門の下端を見直すことは、設計条件をとりまとめている千葉県にも関係してくることから、改めて千葉県も含めて検討し、その結果を船橋市漁業協同組合へ報告します。

Q：仮設栈橋による船からの見通しを確認するために、仮設栈橋の杭の配置が分かる断面図も示していただけないでしょうか。

A（国）：仮設栈橋の断面図については、後日、船橋市漁業協同組合へ提示します。

【海老川水門の工事に関すること】

Q：仮設管理用通路は、水門の維持管理の為の通路とのことですが、現状、浜町と湊町を繋ぐ生活通路として、また中学生の通学路として海老川水門の管理用通路を通行している状況です。工事中においても、これまでと同様に仮設管理用通路を一般の人は通行できるのでしょうか。そして、通行時の安全面についてどのように考えているのでしょうか。また、万が一、通行止めの期間が発生する場合は、中学校やPTA等への事前説明をお願いします。（説明資料 P13）

A（県）：現在の海老川水門管理用通路は、浜町と湊町を結ぶ重要な通路となっていることは、承知しています。現在、国土交通省及び船橋市と工事中も一般通行できるよう、通行時の安全面も含めて調整を図っているところです。

Q：施工ステップ1に関して、工事に伴い設置する仮締切は、工事中でも高潮等の水圧に耐えうる構造でしょうか。（説明資料 P12）

A（国）：工事で設置する仮締切は、高潮等の水圧にも耐えられるよう設計しています。

Q：説明資料に記載している「A.P.+」とはどういうものでしょうか。

A（国）：「A.P.」とは、荒川改修工事で使用された基準面からの高さを表しており、海拔（本地域では東京湾の平均海面）の高さに1.134mを加えた高さが「A.P.」による高さの表示となっています。また、荒川改修工事の基準面より高い場所は、「+」を付けて表示しています。

Q：施工ステップ3に関して、船舶の通行が海老川第一水門のみとなっていますが、海老川第一水門は低く通行できない船舶があるので、新水門を通行することは出来ないでしょうか。（説明資料 P12）

A（国）：施工ステップ3の段階では、新水門の通行はできないと考えていますが、改めて新水門の通行について検討し、船橋市漁業協同組合へ報告します。

Q : 海老川水門の工事期間中においても、港内の浚渫はこれまで通り行うのでしょうか。
また、海老川水門の工事により海老川の河道掘削がストップしないよう、海老川の河道掘削をどのように行っていくのか教えてください。

A (県) : 港湾で管理している範囲の維持浚渫については、これまで通り定期的に行います。
海老川の河道掘削については、船橋橋から上流は令和16年度までに完了予定、
また、海老川水門までの下流部分についても行っていくと河川部局より聞いて
います。海老川水門の工事により、海老川の河道掘削がストップしないよう河川
部局と協力しながら対応していきます。

【海老川水門の操作に関すること】

Q : 新しい水門の運用では、潮位がどのくらいで開閉するのでしょうか。

A 7 (県) : 新しい水門の運用は、現在と同じ運用となります。

Q : 現在の水門の開閉は人が操作していると思いますが、新しい水門の開閉のシステムは、
どのように変わるのでしょうか。また、天気、風、台風等の各種情報やAIを活用した
運用は行われるのでしょうか。

A (県) : 現在は、船橋排水機場に人が常駐し操作をしています。今後については、どのよ
うな対応で水門を動かすのか、検討しているところです。

【船橋排水機場の整備に関すること】

Q：現在、海老川水門を閉めた際は、船橋排水機場及び海老川排水機場のポンプで排水し海老川が溢れないよう対応していますが、現在の合計ポンプ能力 58m³/s について、船橋排水機場の改修後は、どれくらい排水能力が増強されるのでしょうか。

A（県）：今現在、河川整備計画に対応した排水能力を有しており、船橋排水機場改修後の合計ポンプ能力は約 90m³/s になるよう検討しています。

Q：船橋排水機場のポンプは老朽化していますが、作動しない等の危険は無いのでしょうか。

A（県）：適正に維持管理し運転に支障が無いよう取り組んでいます。

【千葉県整備区間に関すること】

Q：国で行う事業区間外の千葉県整備区間（オレンジ線）の整備状況及び整備計画について教えてください。（説明資料 P2）

A（県）：直轄事業区間の西側（西浦、栄町側）については、現行計画の天端高への嵩上げは完了しており、現在、耐震対策工事を進めています。また、現在、気候変動を踏まえ、直轄事業区間の西側・東側（ららぽーと側）の整備をどのように進めていくか検討しているところです。

Q：親水公園には、東日本大震災により壊れて歩くのも危険な箇所が残っています。今後想定されている大きな地震に備えた親水公園の補強等を行っているのでしょうか。また、地震による津波に備えて、親水公園を今より高くしていただきたいです。

A（県）：親水公園の遊歩道等において、一部損傷や陥没により通行を制限しているところがあります。軽微な維持補修については、親水公園の管理会社によって日常管理の中で補修を行っており、陥没箇所については、別途工事で今年度中に一部復旧する予定です。また、東日本大震災のような大きな地震が発生した際には、破損等の発生は避けられないことから、そのような破損等については、早急に復旧できるよう対応してきたいと考えています。

【説明会に関すること】

Q：船橋排水機場は、令和11年～令和15年の期間での改良予定とのことですが、これに関する具体的な説明はいつ頃行う予定でしょうか。

A（国）：現在、船橋排水機場の設計を進めているところで、設計がまとまりましたら、説明の場を設けたいと考えています。

Q：本日の説明会における質疑に関して、船橋市漁業協同組合への報告も含めて、ホームページ等に掲載するのでしょうか。

A（国）：皆様へ報告できるよう千葉県及び船橋市と検討させていただきます。

（ 当日の質疑において、船橋市漁業協同組合へ報告と回答しているものについては、報告が済み次第、後日ホームページを更新する予定です。 ）